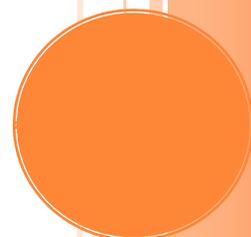


地域医療教育実習Ⅱ

実習の手引き

平成 29 年度



地域医療教育実習Ⅱ

実習を通じての学習目標

『地域医療』とは、「地域住民が抱える様々な健康上の不安や悩みをしっかりと受け止め、適切に対応するとともに、広く住民の生活にも心を配り、安心して暮らすことができるよう、見守り、支える医療活動」である。国民が生活する場所にはあまねく医療が必要であり、また医師も必要とされる。保健・医療・福祉・介護の一体的な地域包括医療・ケアを積極的に実践している施設での実習を通じて、地域医療のあり方と現状および課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を身につけることを第一の学習目標とする。これらは、医学実習Ⅰにおけるより、高レベルの到達度を目指し、地域において、いわゆる Student doctor としての役割を果たす（貢献する）ことを目標とする。

■地域医療実習 【小豆島中央病院コース】

期間	第2クール 【 4/24 (月) ~ 5/19 (金) 】 5/1~5/5 は休講	
	①	4/24 (月) ~ 4/28 (金)
	②	5/ 8 (月) ~ 5/12 (金)
	③	5/15 (月) ~ 5/19 (金)
期間	第3クール 【 5/22 (月) ~ 6/9 (金) 】	
	①	5/22 (月) ~ 5/26 (金)
	②	5/29 (月) ~ 6/ 2 (金)
	③	6/ 5 (月) ~ 6/ 9 (金)
期間	第4クール 【 6/12 (月) ~ 6/30 (金) 】	
	①	6/12 (月) ~ 6/16 (金)
	②	6/19 (月) ~ 6/23 (金)
	③	6/26 (月) ~ 6/30 (金)

<休講日について>

◇原則として、土・日・月を休講とします。

※毎週月曜日は、講義（臨床病理検討会）受講のため、休講。

※**実習は、火曜日～金曜日まで。**

小豆島中央病院



臨床教授・実習責任者

佐藤 清人 院長

小豆島中央病院 : 0879-75-1121

地域医療担当としての小豆島中央病院の実習理念

はじめに

小豆島は、約28,000人の人口を抱える瀬戸内海で橋の架かっていない一番大きな島である。少子高齢化で医療依存度が高い世代が多く、離島であるがゆえに、小豆島で二次医療圏としての医療環境を堅持していかなければならない。

小豆島中央病院は、公立2病院を統合し、地域住民の医療を守る使命を持って建設された。また国民健康保険診療施設として地域の保健・医療・福祉・介護の包括ケアを行い、地域のコミュニティ作りにも貢献する。

瀬戸内海の近距離で、大規模離島である小豆島での地域医療について理解し、保健・福祉・介護との関係を学ぶことを目標とする。

小豆島中央病院地域医療実習行動目標

1. 自治体病院としての役割を理解する。
2. 国保病院としての包括ケアを理解する。



小豆島中央病院地域医療研修

1. 一次医療体制について理解する。

- ①外来診療体制を理解する。
- ②巡回診療に参加する。
- ③訪問診療に参加する。

2. 二次医療体制について理解する。

- ①一般病床 185床の役割
- ②医療型長期療養病床 40床の役割
- ③結核病床 5床の役割
- ④感染症病床 4床の役割
- ⑤二次救急病院の役割
- ⑥災害拠点病院の役割

3. 三次医療受療の為の搬送体制について理解する。

	集合時間	集合場所	実習内容	指導教員	
火	午前	10:00	医局	外来診療	山口内科医師他
	午後	13:30	医局	訪問診療または巡回診療	内科医師
水	午前	10:00	医局	外来診療	山口内科医師他
	午後	13:30	医局	訪問診療または巡回診療	内科医師
木	午前	10:00	医局	外来診療	山口内科医師他
	午後	13:30	医局	訪問診療または巡回診療	内科医師
金	午前	10:00	医局	外来診療	山口内科医師他
	午後	13:30	医局	訪問診療または巡回診療	内科医師

*時間厳守のこと

小豆島中央病院（担当：梅本様・藤原様、連絡先：0879-75-1214）

駐車場	病院駐車場（無料） 買い物等で車が必要な場合は、公用車を提供していただきます	
食事	朝・昼・夕	院内食
	自己負担額	院内食は自己負担なし ※院内食不要の場合は、来院時に申し出てください。
近隣	コンビニ	セブンイレブン（車で5分）
	スーパー	フタバ（徒歩で1分）、マルヨシセンター（車で10分）
	飲食店	喫茶店、食堂
持参物	白衣、聴診器、名札	
宿泊施設	病院から300m程の距離で民間借り上げの施設です。 シャンプー・コンディショナー・ボディーソープ・洗濯用洗剤等の生活備品は各自で準備して下さい。 冷蔵庫・洗濯機・Wi-Fi 完備しています	

【小豆島中央病院 注意事項】

小豆島国際フェリー

片道 ¥ 690 （往復券 ¥1320）

サンポート高松発 8:32 am

池田港 着 9:32 am

基本的に池田港につくフェリーに乗ってください

池田港から小豆島中央病院まで小豆島町営バス（三都西線）で一駅です

徒歩でも10分ぐらいです

霧等で池田港以外の港に着く場合タクシー等で対応して下さる場合があります

※必ず事務担当の方に事前連絡して下さい

小豆島町営バス 三都西線

初乗り ¥150

池田港ターミナル前 発 9:40 am

小豆島中央病院 着 9:43 am



地域医療実習の一般的事項

実習時間

火～金曜日×3週間

原則として 9時～17時まで、カンファレンスや時間外当直等に参加したい希望があればこの限りではない。

レポート

A4用紙に感想・実習内容などを自由に記載して、当センターに提出すること。
期限は、実習終了後1週間とする。評価に用いる。

集合時間・集合場所

実習先の施設の指示に従う。時間厳守。

交通

自家用車利用の場合、駐車場は必ず指定の場所を利用する。
交通費は旅費規程に準じて支給する。詳細はセンター事務員に問い合わせして下さい。

持ち物

白衣、聴診器、名札、宿泊の準備、レポート用デジタルカメラ（撮影許可はその都度得ること）など

その他

服装など：特に清潔さには十分留意すること。患者や家族に対しては、医学生として良識を持った言葉遣いと行動を心がけること。

個人情報保護に努めること。

撮影・録音等の方法で取材する場合は、教員および当事者の了解を得ること。

学生の都合、受け入れ側の都合、天候不良などにより、実習への参加が不可能になった場合は、速やかに連絡すること。

移動時や実習時の事故など、万一の緊急時には、連絡すること。

緊急連絡先（受付時間：8時30分～17時15分）

地域医療教育支援センター 087-891-2489

教務係 087-891-2067